

【岐阜女子大学】メタデータ記述用紙

	メタデータ項目	メタデータ記述欄
1	ID	
2	表題名	沖縄のアメリカ世の名残
3	資料名	プラザハウス (PLAZA HOUSE SHOPPING CENTER)
4	内容分類	郷土・歴史
5	索引語	沖縄戦、復帰 50 年、アメリカ世、プラザハウス、アメリカ文化
6	説明	<p>プラザハウス (PLAZA HOUSE SHOPPING CENTER) は、終戦後に設置された琉球米軍司令部 (Ryukyu Command Headquarters) や、その他米軍基地や施設等に駐留していた将校や司令官、その家族の需要を満たすために、1954 年にライカム (Rycom) エリアに隣接した場所に創業した「日本初のショッピングモール」といわれている。</p> <p>琉球政府 (= 司法・立法・行政の三権を備えた自治機構として、戦後、米軍が沖縄に設けた統治機構 “米国民政府” の意向で創立された政府) より特別免許を取得し、7 月 4 日のアメリカ独立記念日に営業を開始した。当時のアメリカ本国で主流だったショッピング文化が反映されていた。</p> <p>現在もヨーロッパ、アメリカなどからの直輸入によるセレクトショップ「Roger's」をはじめ、衣・食・住・娯楽などの幅広い、個性豊かな専門店が 40 あまり立ち並んでおり、週末には多くの人々が訪れ、駐車場も込み合う。</p> <p>(参考: プラザハウス公式ホームページ, https://www.plazahouse.co.jp, [アクセス 2022/11/15])</p>
7	形式	静止画 (jpg)
8	氏名	撮影者: *****
9	時代・年	撮影日: 2020/11/13
10	地域・場所	沖縄県沖縄市久保田
11	利用条件	表示 4.0 国際 (CC BY 4.0) で提供
12	関連資料	
13	権利者	岐阜女子大学
14	協力者	なし
15	登録日	2022/11/15
16	登録者	*****
17	ファクトデータ	circd091a-0003. jpg

18	サムネイル	
19	公開の可否	公開可
20	*特色	<p>■プラザハウスに関する歴史的背景</p> <p>①第二次世界大戦末期（米軍のアイスバーグ作戦）</p> <p>第二次世界大戦末期、米軍は沖縄本島上陸前の1週間で約40,000発の砲弾を撃ち込み、1,600機の艦載機で爆撃・機銃を加えたといわれている。1945年4月1日、沖縄本島中部の西海岸（北谷村、読谷村）から日本軍の抵抗をほとんど受けずに上陸し、アイスバーグ作戦を実行した。それにより、同日の午後2ごろには読谷飛行場と嘉手納飛行場を占領し、その後2、3日のうちに沖縄本島を横断し、石川や泡瀬の東海岸まで到達した。</p> <div data-bbox="619 1160 1337 1724" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">1945年, 首里</p> <p>〔説明〕</p> <p>丘の斜面にある雨の溜まった水玉模様の地面の穴や、葉の落ちた木の幹の裂かれた様子は、首里城周辺の日本軍陣地に対する第10陸軍の猛攻をあらわにする。左手前の倒れた鉄塔は、8万の皇軍で防御体系をなしていた中央制御部の周りであった11の同様な施設の一つであった。丘には日本軍が爆撃を避けるための洞穴が、中央には米歩兵部隊の携帯テントが見える。（写真は「沖縄県立公文書館所蔵」）</p> <p style="text-align: center;">岐阜女子大学「沖縄おうらい」(戦中・戦後の子どものオーラルヒストリー)より</p>

②米軍琉球軍司令部 (RYUKYU COMMAND) の設置

米軍は、戦後、最もライフラインのしっかりしていたエリア (かつての中頭郡北中城村比嘉地区) に米軍琉球軍司令部 (RYUKYU COMMAND) を設置した。米軍琉球軍司令部を設置した一帯は米軍琉球軍司令部 (RYUKYU COMMAND) を略してライカム (RYCOM) とよばれ、現在も「ライカム交差点」「ライカム坂」などの地名が残っている。

商業施設「イオンモール沖縄ライカム (中頭郡北中城村字ライカム1)」もこの一帯であり、1945年に米軍に接収されて駐留の米軍のゴルフ場であった。その後、2010年に返還された跡地を開発し、2015年「イオンモール沖縄ライカム」がオープンした。

「イオンモール沖縄ライカム」は沖縄のゴルフ発祥地としてライカム内に説明板と当時の写真が展示されている。



イオンモール沖縄ライカムと店内の説明板

米軍基地内ライカムハウジングエリアはイオンモール沖縄ライカムの駐車場からも見ることができ、フェンスの中は芝生が広がり家々が立ち並んでいる。



イオンモール沖縄ライカム駐車場から見たライカムハウジングエリア

；黄色のバスは米軍基地内のインターナショナルスクールの通学バスである。

③現在のプラザハウスができるまで

プラザハウス創業者のロージャー・C・ウィリアムズは、東京都港区にインポート商品を取り扱うロージャースを開業した。その後、すでに営業をはじめていたプラザハウスに東京から移転し、現在のプラザハウスショッピングセンターの原型が誕生した。

プラザハウスは、戦後22年を経た日本復帰後、復帰措置法の一環として制定された観光戻税承認店に指定され、洋酒、香水、時計等の戻税対象商品、外国商品を中心に沖縄民芸品を取り扱うようになり、沖縄観光におけるショッピング施設となった。

用語：沖縄の観光戻税制度

2 1	* 活用支援	
2 2	* 利用分野	教育、生涯学習、地域学習
2 3	* 改善結果	
2 4	* 処理プロセス	

25	機関外リンク情報	
26	目標	
27	紹介	